

現行の図書館の課題に対する新図書館での対応

(1) 施設の老朽化

現行の図書館の課題	新図書館での対応
①建物の老朽化 ・ 雨漏り、外壁のクラック、トイレなどの設備の古さ	・ 建物や設備の新設
②図書館システムの老朽化 ・ 災害時の障害に弱い ・ セキュリティが不十分	・ クラウド型システムの導入による災害面やセキュリティの強化

※改善内容には検討中のものも含まれます。

(2) 使い勝手の悪さ

現行の図書館の課題	新図書館での対応
①多世代の利用者への対応、バリアフリーへの対応 ・ 授乳室やおむつ替えスペース等、子育て世代への対応設備が不十分 ・ 敷地に高低差があり、ベビーカーや車いすの利用者が利用しづらい ・ 対面朗読室がない	・ 授乳室やベビーチェア、ベビーベッドなど、子育て世代向けの施設や設備の整備 ・ 車いす利用者などに配慮した段差の少ない施設整備や対面朗読室の設置など、バリアフリーに対応
②スペースの有効活用 ・ 利用者が少ない1階参考資料室や使用頻度が少ない2階ロビーなど、有効活用できていないスペースがある ・ その一方、利用者がグループ活動をするスペースがない	・ グループ活動室を設置し、可動式間仕切りなどによるスペースの有効利用
③滞在型の利用者への対応 ・ 長時間閲覧する利用者や、学習目的で訪れる学生・社会人等、「滞在型」の利用者が存在する。 ・ その一方で、飲食スペースが小規模で隣接した飲食店もない。また、閲覧・学習スペースが足りず、持ち込みのパソコンを使用できる席も少なく、電源も使用不可となっている。	・ 飲食スペースや電源の使用可能なスペースの設置、閲覧・学習スペースの拡充など、利用者が快適に過ごせる空間づくりやサービスを提供 ・ ゆったりとくつろいで過ごすことのできる雰囲気施設の整備

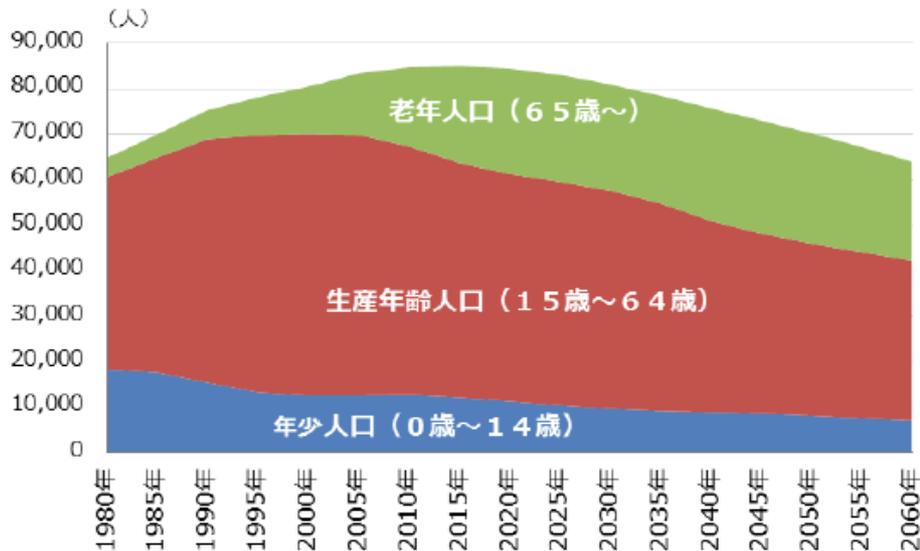
(3) 図書館利用の推進

現行の図書館の課題	新図書館での対応
・ 貸出冊数および利用登録者数は平成 22 年度から減少傾向が続いており、市民の読書や学習活動の推進のため、利用者ニーズを取り入れた資料収集など、図書館利用の推進が必要。	・ 利用者別支援の推進 ・ アンケート調査結果などを参考に、市民ニーズに対応した資料収集を実施

年齢別人口推移について - 「知多市人口ビジョン（平成 28 年 2 月）」より

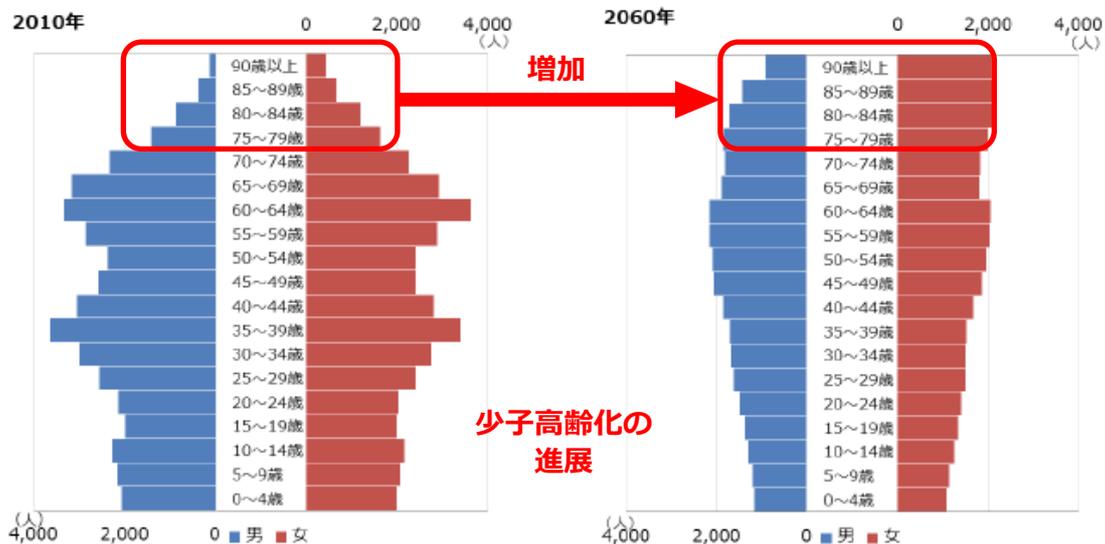
- ・ 2060 年には、知多市全体の 34.0%が 65 歳以上となり、2010 年の 20.6%から 10%以上増加する推計となっています。2010 年においては、生産年齢人口 3.12 人で 1 人の老年人口を支える「騎馬戦型」であったのに対し、2060 年には 1.62 人で 1 人を支える「肩車型」に変化します。

年齢 3 区分別人口の推移



- ・ 人口ピラミッドをみると、2010 年においては、団塊世代と団塊ジュニア世代の 2 つの大きな膨らみのある「ひょうたん型」ですが、2060 年には「つぼ型」に変化します。

5 歳階級別人口ピラミッド比較 (2010 年、2060 年)



- ・ 将来の人口推移結果から、75 歳以上の高齢者の増加が見込まれ、今後、生涯学習の重要性がより高まっていくと考えています。
- ・ また、人口減少・少子高齢化への対応として、年少～生産年齢人口を呼び込めるような施設とすることも、方策のひとつとして重要だと考えています。
- ・ そのため、生涯学習や高齢者への配慮は大前提としながら、利用者別支援の充実等により、基本方針の「多世代にやさしい図書館」を目指していきたくと考えています。

出典：「知多市人口ビジョン（平成 28 年 2 月）」

※2010 年は総務省「国勢調査」、2060 年は社人研「日本の地域別将来推計人口」に準拠し推計

スペースの柔軟な利用について

- ・スペースの柔軟な利用について、現段階では、以下のような内容を想定しています。

スペース	通常時の使い方	時間や時期によって 想定する使い方
児童お話し室	児童書スペースと一体利用し、 閲覧スペースとして開放	主に児童を対象とした朗読会の開催 ※遮音性のある間仕切りやカーテン で仕切れる仕様とする
視聴覚室	学習スペース ※個人学習室の補足的なスペース	映画会、講座、講習会、展示会等の イベント開催
グループ活動室	協力団体等の活動 ※活動団体数により、 1室↔3室程度に可変な仕様とする (可動式間仕切りの活用)	講座、講習会、展示会等のイベント 開催、学習スペースの予備室
ラウンジ	談話・飲食コーナー ※学生等の学習利用も想定	展示会等のイベント開催
録音室兼対面朗読室	録音室	対面朗読

- ・なお、同一敷地に整備される商業施設との位置関係にも依りますが、テラスや中庭を配置し、談話・飲食やイベントに利用することも考えられます（民間事業者の提案による）。
- ・スペースの柔軟な利用については、引き続き検討し、公募要求水準書に反映していきます。